

[Huchu perryi]

「幻の魚」が本当に幻にならないよう活動を行っています。

イトウの生息環境の保全を考え、

そのために行政や森林の所有者、学識経験者などと幅広く協力し、

私たちは、イトウを守ることは、森を守ること、川を守ることと考えます。

イトウは他の絶滅した河川と同じように、すぐに姿を消してしまうでしょう。

イトウは他の絶滅した河川と同じように、すぐに姿を消してしまうでしょう。

しかしそれは、猿払原野が手つかずの自然を保っていたからにはかならず、

森や流域の開発が野方図に行われるとしたら、

猿払村はイトウが棲む有数のエリアで、

なかでも猿払川は北海道の中で最大級の生息数をもっています。



イトウこども学校

あつまれ！イトウのひみつ探検隊

※下記ホームページにリンクバナーがあります。

猿払イトウ保全協議会

猿払イトウ保全協議会は、2009年12月、猿払のイトウを守る思いをもつ、団体、個人により設立されました。行政、NPO、猿払山林周辺の森林所有者などとの連携や、研究者へのフィールドの提供、教育・広報活動などを通じて、イトウの保全を推進してまいります。

イトウの生態にはまだまだ解明されていない謎が多くあります。そのため猿払イトウ保全協議会では、王子製紙社有林を、イトウの生態や生息環境の調査・研究のためのフィールドとして研究者へ提供しています。

会員を募集します。

猿払イトウ保全協議会では、活動に賛同される個人や団体の入会を募集しています。詳しくはホームページで。

www.sarufutsu-icc.gr.jp



猿払事務所

〒098-6233 北海道宗谷郡猿払村鬼志別南町 猿払イトウの会内
TEL 01635-2-3614 FAX 01635-2-3129

東京事務所

〒104-0061 東京都中央区銀座4-7-5 王子製紙(株) 資源戦略本部植林部内
TEL 03-3563-7014 FAX 03-3563-1140

*印の写真：Copyright © YO THIRAI All Rights Reserved.
**印の写真：Copyright © SATOSHI ADACHI All Rights Reserved.

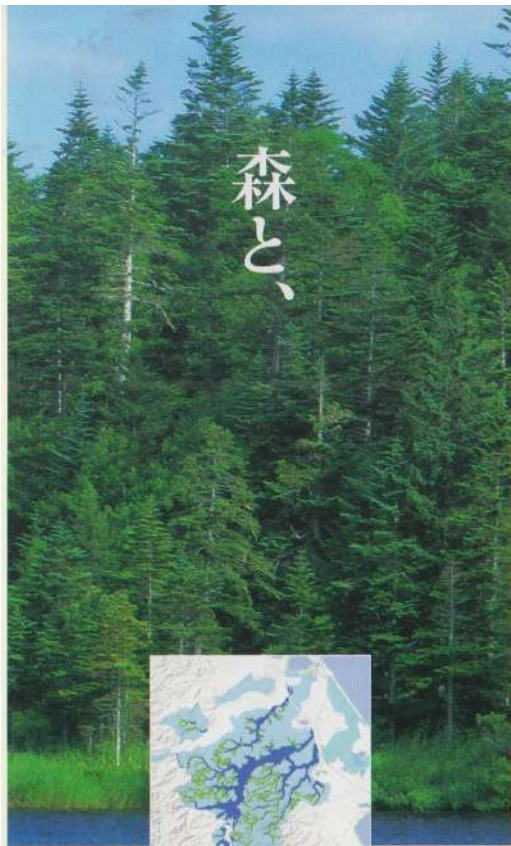


森と、川と、イトウと。

猿払イトウ保全協議会



森と、



● 猿払社有林
● 氾濫原
● 河畔林

猿払川の流域を、環境保全区に指定

川を囲む河畔林は、イトウの稚魚にエサとなる昆虫類を与え、日陰を与え、そして土砂の流出を食い止めてイトウの産卵場所を提供します。この大切な河畔林を守るために、王子製紙社有林内に、環境保全区を設定。中・上流域の猿払原野とほとんどの支流で、川の両岸から幅30mの河畔林が保全されることになりました。

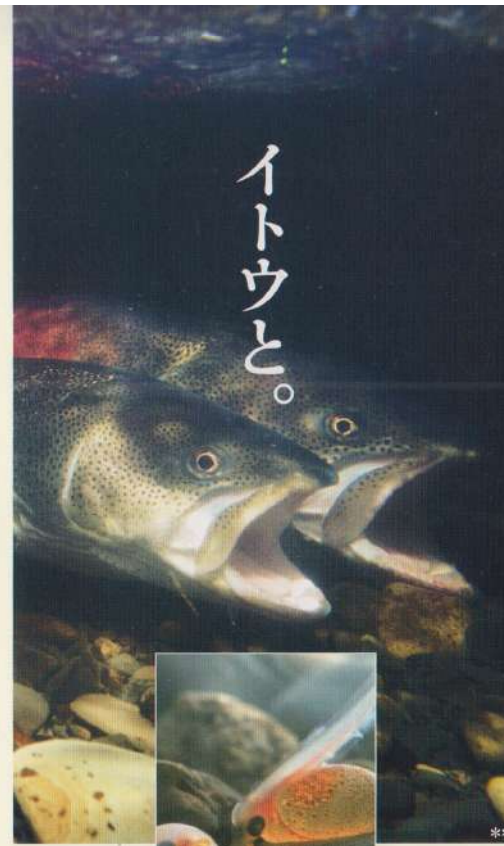
川と、



イトウにやさしい川を見守る

イトウは川のすべてを使って生活する魚。産卵の都度に川の上流部から河口部、汽水域まで移動を繰り返します。その川が堰堤などの構造物で分断されては、イトウは産卵することができず、やがてその川からイトウは姿を消すことになります。猿払イトウ保全協議会では、構造物によってイトウがその行動を制限されないことがないよう、川を見守っていきます。

イトウと。



イトウを通じて自然の大切さを知る

イトウはかつて、岩手県や青森県にも生息していましたが、現在では北海道でも限られた水系でしか見ることはできません。環境省のレッドリストでは絶滅危惧IB類（近い将来絶滅の危険性が高い種）に、北海道のレッドデータブックでは絶滅危機種に指定されています。「湿原の王者」とまでいわれるイトウが絶えることのないよう、今こそ安定的に生息する環境を守らなければなりません。そのために私たちは、シンポジウムや自然学校を開催。イトウを守る啓発活動を行っています。